



第2四半期決算説明資料

INDEX



1. 第2四半期決算の概要

- P4 : 業績の概要
- P5 : 業績の要因
- P6 : 資産、負債及び純資産の状況
- P7 : 純利益の状況
- P8 : キャッシュ・フローの状況
- P9 : 営業費の状況
- P10: 部門別の状況
- P11: 既存店売上高前年比の状況
- P12: 荒利率の状況
- P13: PB商品の状況
- P14: スクラップ&ビルドの状況
- P15: 立地別の状況
- P16: デベロッパー別の状況
- P17: アパレル事業ブランド別の状況
- P18: 雑貨事業ブランド別の状況
- P19: ブランドリスト

2. 下期及び今期計画

- P21: 今期計画の概要
- P22: 下期及び通期計画
- P23: 留意すべき環境
- P24: 下期の経営施策

3. 来期合併後の経営戦略

- P26: (株)パレモ業績の推移
- P27: (株)鈴丹業績の推移
- P28: 両社の既存店前年比
- P29: 両社の今期見通し合算
- P30: 今期末の姿(予定)
- P31: 両社の部門別売上実績
- P32: 両社のデベロッパー別の状況
- P33: 業界の環境
- P34: 合併の目的
- P35: 合併の効果(1)(2)
- P36: 合併の効果(3)(4)
- P37: 成長戦略
- P38: 目指す企業

4. 株主様情報

- P40: 株主様構成比
- P41: 株主様還元策
- P42: お問い合わせ先



1. 第2四半期決算の概要

業績の概要



第1四半期
第2四半期

経常大幅減益
経常増益

売上高	15,743百万円	⇒	14,259百万円
既存店前年比	100.6%	⇒	89.8%
	第1Q 84.8%		第2Q 94.8%
売上総利益	8,425百万円	⇒	7,589百万円
営業費	7,495百万円	⇒	7,044百万円
営業利益	929百万円	⇒	545百万円
経常利益	959百万円	⇒	564百万円
純利益	356百万円	⇒	▲114百万円

業績の要因



第1Qの大幅減益の要因

震災による休業及び消費者嗜好性の変化

アパレル事業の客数減少、既存店売上減少

売上高、売上総利益高の減少

第2Qの増益の要因

雑貨事業の商品力・営業力の強化

既存店売上の向上 第2Q 107.1%

アパレル事業のドメイン商品の強化

荒利益率の向上 第2Q 0.9% 改善

今期の特殊要因 会計基準の変更及び震災による損失

特別損失 522百万円

資産除去債務 342百万円 震災による損失 91百万円

資産、負債及び純資産の状況



自己資本 5,843百万円 46.1%
長短借入金 1,300百万円 10.3%

	2010年8月期	2011年2月期	2011年8月期
総 資 産	12,913百万円	12,542百万円	12,681百万円
商 品	2,392百万円	2,502百万円	2,460百万円
投資その他資産 ※主に保証金	6,318百万円	6,210百万円	6,099百万円
負 債	6,800百万円	6,534百万円	6,838百万円
長 短 借 入 金	1,600百万円	1,100百万円	1,300百万円
純 資 産	6,112百万円	6,008百万円	5,843百万円

純利益の状況



純利益 356百万円 ⇒ ▲114百万円

営業利益・経常利益の減少 減損店舗数の減少
今期の特殊要因による特別損失の計上

営業利益	929百万円 ⇒ 545百万円			
経常利益	959百万円 ⇒ 564百万円			
特別損失	207百万円 ⇒ 522百万円			
資産除去債務	— ⇒ 342百万円			
減損損失	154 百万円 ⇒ 7 百万円	減損店舗数	30店 ⇒ 2店	
除却損失	28 百万円 ⇒ 13百万円	閉店店舗数	18店 ⇒ 18店	
		改装店舗数	16店 ⇒ 10店	
災害による損失	— ⇒ 91百万円			

キャッシュ・フローの状況



フリーキャッシュ・フロー ▲546百万円

税引前四半期純利益の減少及び売上預け金の増加

	2010年 8月期	2011年 8月期
営業キャッシュ・フロー	882百万円	▲490百万円
投資キャッシュ・フロー	▲41百万円	▲56百万円
財務キャッシュ・フロー	▲536百万円	149百万円
現金及び現金同等物の増減額	304百万円	▲397百万円

営業費の状況



営業費 94.0%(前年比)

店舗適正人員及び賃借料の継続見直し

人件費	前年比 94.0%	売比 23.5%⇒24.3%
賃借料	前年比 95.4%	売比 13.9%⇒14.7%
営業費合計	前年比 94.0%	売比 47.6%⇒49.4%

部門別の状況



既存店増収 シーベレット 101.1% イルーシー300 105.9%

	売上高	構成比	単純前年比	既存店前年比
ギャルフィット部門	8,900	63.2	87.9	85.4
ライムストーン部門	680	4.8	80.8	89.4
ビサリア	185	1.3	90.5	64.3
アパレル事業合計	9,767	69.3	87.6	85.4
シーベレット部門	3,036	21.5	94.2	101.1
イルーシー300	558	4.0	150.7	105.9
インセンス部門	590	4.2	89.5	99.4
木糸土	133	1.0	105.2	99.8
雑貨事業合計	4,319	30.7	98.6	101.2

※ネット、その他手数料は含まれておりません。

(単位: 百万円、%)

※GF:GF、リシェリエ、ドスチ、Re-J、ジニーの数字となっています。

※LS:LS、リメディオの数字となっています。

既存店売上高前年比の状況

既存店売上高前年比 89.8% 第1Q 84.8% 第2Q 94.8%

	3月度	4月度	5月度	第1四半期	
全社売上	80.2	84.8	88.8	84.8	
アパレル	77.5	80.0	84.5	80.8	
雑 貨	87.5	97.4	100.0	95.4	
客 数	82.4	86.9	89.8	86.6	
客単価	97.3	97.6	98.9	97.9	
	6月度	7月度	8月度	第2四半期	上期
全社売上	92.5	96.2	95.5	94.8	89.8
アパレル	87.1	91.6	91.5	90.2	85.4
雑 貨	106.1	108.8	106.5	107.1	101.2
客 数	94.5	92.8	93.2	93.6	90.2
客単価	97.9	103.6	102.5	101.3	99.6

(単位: %)

荒利率の状況



荒利率 53.5% ⇒ 53.2%

第1Q ▲1.9% 第2Q +1.3% 前年同期比増減 ▲0.3%

	2009年 2月期	2009年 8月期	2010年 2月期	2010年 8月期	2011年 2月期	2011年 8月期
アパレル 事業部	52.6	53.1	53.5	54.6	54.2	54.0
雑貨事業部	50.0	47.6	48.7	49.2	50.0	50.1
全 社	52.4	52.0	52.6	53.5	53.4	53.2

(単位: %)

PB商品の状況



直接貿易構成比の減少 15.8% ⇒ 9.5%

		09年8月期		10年8月期		11年8月期	
		売上 構成比	荒利 益率	売上 構成比	荒利 益率	売上 構成比	荒利 益率
キヤルフィット	直 質	13.3	50.2	15.8	52.5	9.5	51.0
	直質以外の P B	52.2	55.5	52.3	56.8	37.8	54.9
	P B 合 計	65.5	54.4	68.1	55.8	47.3	54.1
	P B 外 合 計	34.5	50.3	31.9	51.9	52.7	53.3
ライムストーン	P B 合 計	65.9	53.5	72.1	55.6	54.5	55.9
	P B 外 合 計	34.1	52.8	26.2	52.7	45.5	55.6

(単位: %)

スクラップ & ビルドの状況



出店拡大 22店 ⇒ 24店

都心、モール型SCへの集中投資

	2010年 2月期	2010年 8月期	2011年 2月期	2011年 8月期	2012年 2月期
				上期	見通し
出 店	14	22	38	24	40
退 店	54	18	35	18	20
純 増	▲40	4	3	6	20
期末店舗数	573	577	576	582	596
店舗投資額	286	355	670	307	800

(単位: 店数、百万円)

立地別の状況



都心、モール型出店拡大 24店中 21店

		2010年8月期	2011年2月期	2011年8月期
都市型	店舗数	38	37	42
	(構成比)	6.6%	6.4%	7.2%
モール型	店舗数	127	134	145
	(構成比)	22.0%	23.3%	24.9%
GMS型	店舗数	412	405	395
	(構成比)	71.4%	70.3%	67.9%

デベロッパー別の状況



イオングループ店舗拡大 166店 ⇒ 169店

	出店	退店	増減	期末 店舗数	店舗 構成比
イ オ ン G	9	6	3	169	29.0
ユ ニ ー G	0	6	▲6	124	21.3
セ ブ ン & ア イ G	2	0	2	47	8.1
ダ イ エ ー	0	0	0	22	3.8
フ ジ	3	0	3	22	3.8
イ ズ ミ	1	0	1	20	3.4
他	9	6	3	178	30.6
合 計	24	18	6	582	100.0

アパレル事業ブランド別の状況



出店 15 退店 5 ドスチ拡大 出店 6
新ブランド リシェリエ・ビスリアを都心、モール立地に出店

	出店	退店	業態転換	純増(減)	期末店舗
ギャルフィット部門	13	3	2	12	339
リシェリエ	2	0	1	3	5
ドスチ	6	0	2	8	36
Re-J・ジニー	3	0	1	4	47
ギャルフィット他	2	3	▲2	▲3	251
ライムストーン部門	0	2	▲1	▲3	27
リメディオ	0	0	▲1	▲1	10
ライムストーン他	0	2	0	▲2	17
ビスリア部門	2	0	0	2	4
アパレル事業合計	15	5	1	11	370
複合店	0	6	▲1	▲7	48

雑貨事業ブランド別の状況



出店 9 退店 7 イルシー300拡大 出店 7

	出店	退店	業態転換	純増(減)	期末店舗
シーハレット部門	8	3	0	5	132
IL300	7	0	0	7	22
シーハレット他	1	3	0	▲2	110
インセンス部門	0	3	0	▲3	28
木糸土部門	1	1	0	0	4
雑貨事業合計	9	7	0	2	164

ブランドリスト



	都市型	モール型	GMS型
アパレル事業 8	   	   	  
雑貨事業 4	 	  	 



2. 下期及び今期計画

今期計画の概要



	前 期	期首計画	9月修正計画
売 上 高	29,902	29,300	28,300
経 常 利 益	1,212	1,300	970
純 利 益	288	190	0

(単位:百万円)

既存店売上高前年比 下期 96.5%

売 上 総 利 益 率 下期 1.2% 改善

出退店の年間計画 出店40店 退店20店

下期及び通期計画



	前年下期 実績	下期 計画	前年比	前年通期 実績	通期計画	前年比
売上高 (既存店前期比)	14,159 97.0	14,040 96.5	99.2	29,902 98.9	28,300 93.2	94.6
売上総利益 (売上比)	7,557 53.4	7,660 54.6	101.4	15,982 53.4	15,250 53.9	95.4
営業費 (売上比)	7,318 51.7	7,245 51.6	99.0	14,813 49.5	14,290 50.5	96.5
営業利益 (売上比)	239 1.7	414 3.0	173.2	1,168 3.9	960 3.4	82.1
経常利益 (売上比)	253 1.8	405 2.9	160.1	1,212 4.0	970 3.4	80.0
当期純利益 (売上比)	▲68 ▲0.5	114 0.8	—	288 1.0	0 0	0

(単位:百万円、%)

留意すべき環境



SCのテナント入替え激化及びアパレル同質化
ファッションマーケットの変化

雑貨ショップ導入拡大及び競争激化
雑貨業態の多様化

政治、経済の不透明感
購買動向の安定志向

下期の経営施策



多核化ブランド戦略 各ブランドのブランド力強化

主力事業の最強化

商品の主力強化
販促及び販売セット率強化

都心・モール型出店強化

年間 出店40店舗 退店20店舗 予定通り
リシェリエ、Re-J、ドスチ、IL300

新規事業の育成・拡大

ビサリア、木系土、IL300
IL300の出店加速
木系土のアプリレル複合大型ショッパ展開

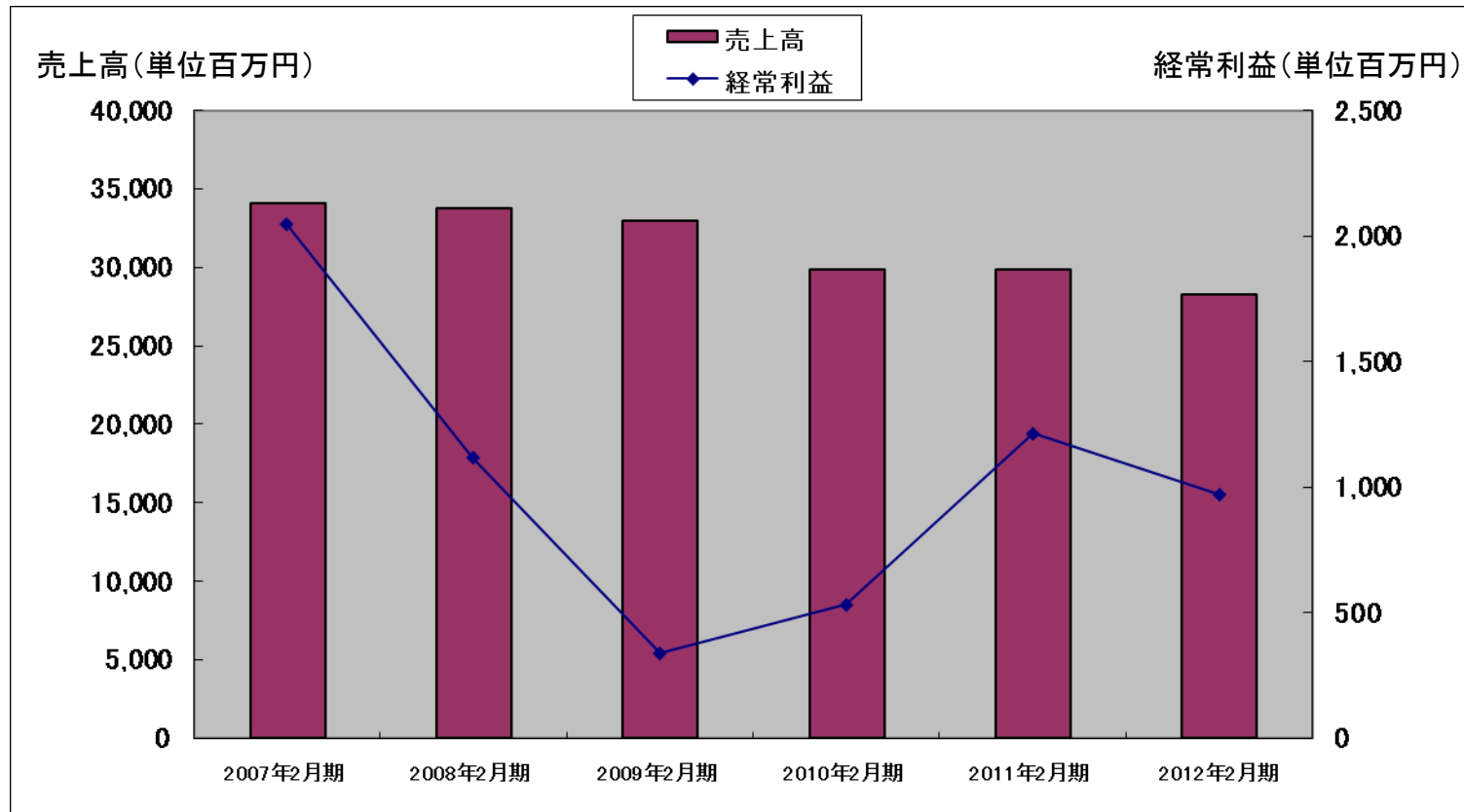


3. 来期合併後の経営戦略

(株)パレモ 売上高・経常利益等の推移



過去5年間の実績(単体数値)

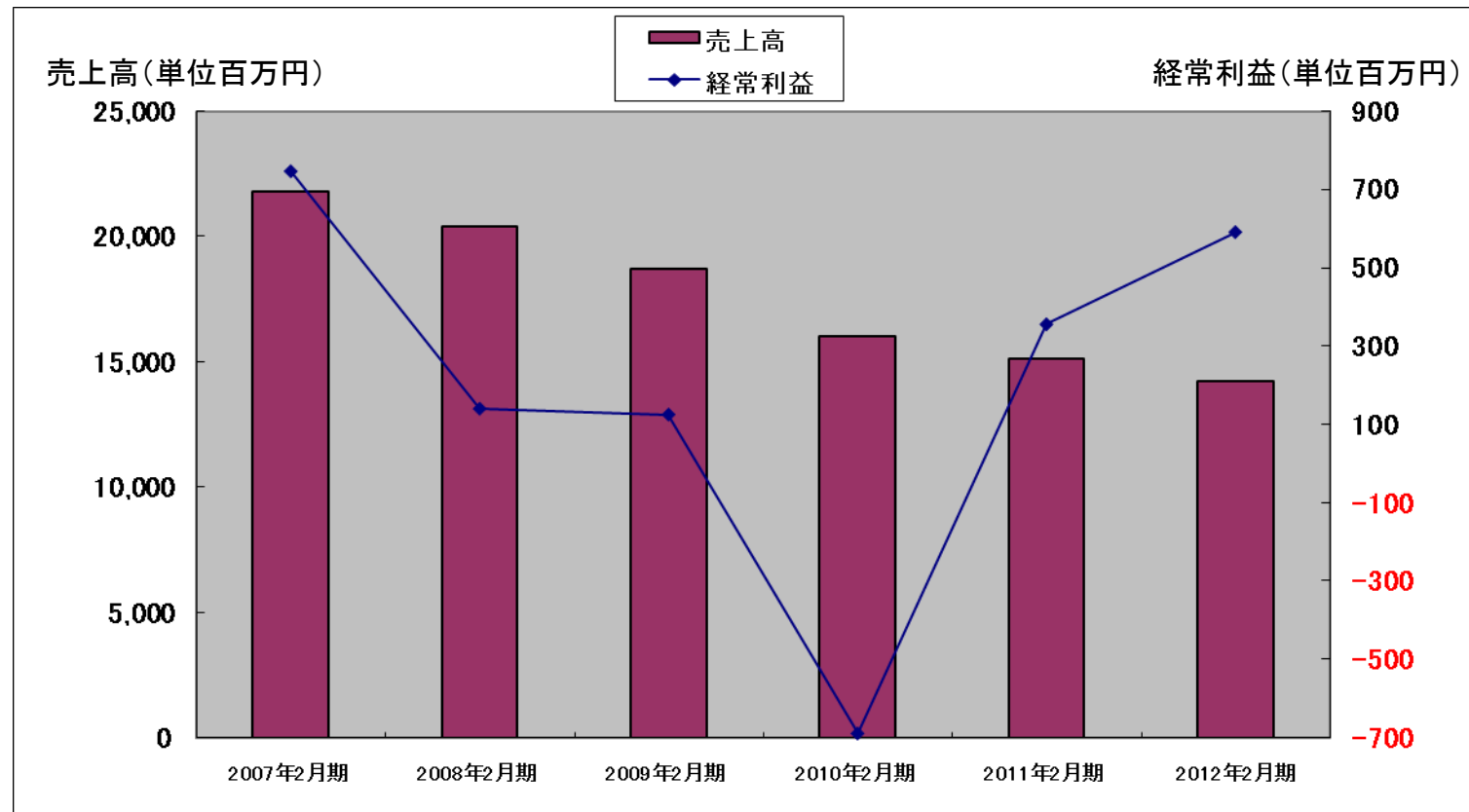


(株)パレモ	2007年2月	2008年2月	2009年2月	2010年2月	2011年2月	2012年2月見通し
売上高	34,095	33,796	32,994	29,893	29,902	28,300
経常利益	2,045	1,117	339	532	1,212	970
純利益	793	286	△ 293	△ 571	288	0
店舗数	529	569	613	573	576	596

(株)鈴丹 売上高・経常利益等の推移

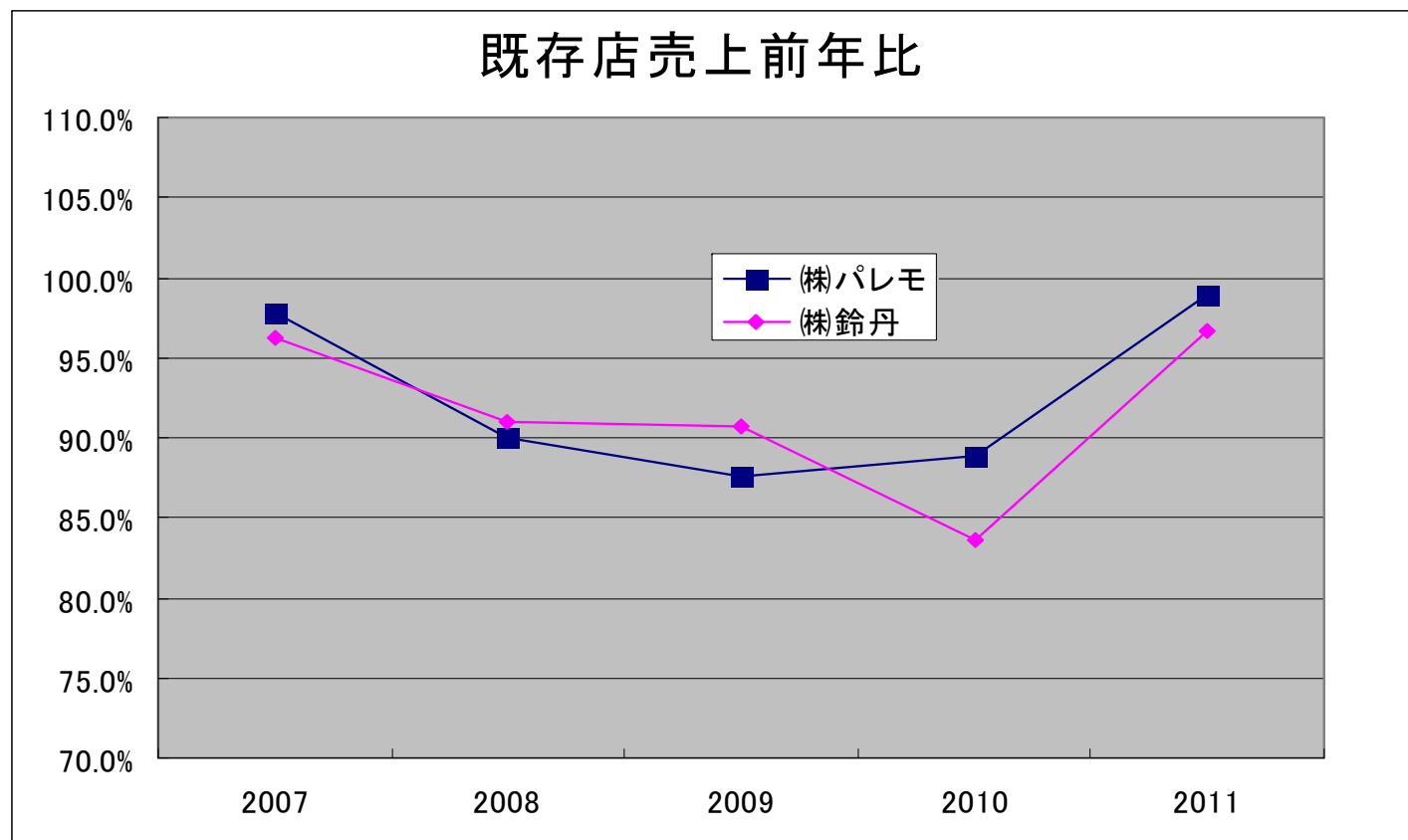


過去5年間の実績(連結数値)



(株)鈴丹	2007年2月	2008年2月	2009年2月	2010年2月	2011年2月	2012年2月見通し
売上高	21,801	20,431	18,744	16,047	15,152	14,220
経常利益	745	140	125	△ 688	355	590
純利益	440	△ 250	△ 184	△ 1,366	92	6
店舗数	289	298	298	284	241	241

両社の既存店前年比



	2007年2月	2008年2月	2009年2月	2010年2月	2011年2月
(株)パレモ	97.8%	90.0%	87.6%	88.8%	98.9%
(株)鈴丹	96.2%	91.0%	90.7%	83.6%	96.7%

両社の今期見通し合算



(株)パレモ・(株)鈴丹 合算

合 算	前年実績		今期見通し		前年比
	金額	売上比	金額	売上比	
売 上 高	45,054	100.0	42,520	100.0	94.4
売 上 総 利 益	24,423	54.2	23,200	54.6	95.0
営 業 費	22,905	50.8	21,660	50.9	94.6
営 業 利 益	1,517	3.4	1,540	3.6	101.5
経 常 利 益	1,567	3.5	1,560	3.7	99.6
当 期 純 利 益	380	0.8	6	0.0	1.6

(単位:百万円、%)

今期末の姿(予定)



	売上	営業利益	経常利益	純利益
(株)パレモ	28,300	960	970	0
(株)鈴丹	14,220	580	590	6
合算	42,520	1,540	1,560	6

	借入金	純資産	総資産	発行株数
(株)パレモ	1,100	5,921	12,441	7,260千株
(株)鈴丹	3,500	579	6,681	11,215千株
合算	4,600	6,500	19,122	12,052千株

(単位:百万円)

両社の部門別売上実績



(2011年2月実績)

	部門	売上	構成比
(株)パレモ	アパレル部門	20,959	70.1%
	雑貨部門	8,580	28.7%
	その他	362	1.2%
	計	29,902	(66.4%)
(株)鈴丹	レディース部門	14,355	94.7%
	FC事業部門	714	4.7%
	その他	83	0.5%
	計	15,152	(33.6%)
合算		45,054	100.0%

(単位:百万円、%)

両社のデベロッパー別の状況

パレモ 郊外 鈴丹 都心による相互補完

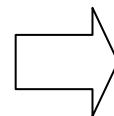
デベロッパー	(株)パレモ		(株)鈴丹		合算	
	期末店舗数	構成比	期末店舗数	構成比	期末店舗数	構成比
イオンG	166	28.8%	53	22.0%	219	26.8%
ユニーG	130	22.6%	28	11.6%	158	19.3%
セブン&アイG	45	7.8%	9	3.7%	54	6.6%
ダイエー	22	3.8%	10	4.1%	32	3.9%
フジ	19	3.3%	2	0.8%	21	2.6%
イズミ	19	3.3%	12	5.0%	31	3.8%
その他(都心)	47	8.2%	70	29.1%	117	14.3%
その他(郊外)	128	22.2%	57	23.7%	185	22.7%
合計	576	100%	241	100%	817	100%

(2011年2月実績)

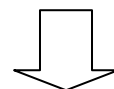
業界の環境



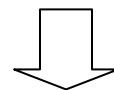
少子高齢化による市場変化
新設商業施設の減少
外資専門店の出店拡大 など



国内市場の成長性が低下
寡占化された競合環境(大と小)



競合環境の激化



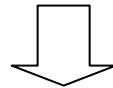
優勝劣敗の環境

合併の目的

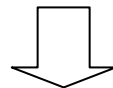


企業基盤の拡大及び強化

両社の持つ資産及びノウハウの共有
重複店舗の展開ブランドの整理統合



既存店の収益性の安定及び向上
成長分野に集中的積極的投資



新たな成長企業を目指す

合併の効果(1)(2)



(1) 企業基盤の規模拡大による総合力強化

- 企業認知度の向上 (人材採用力、店舗開発力、取引先拡大)
- 商品力強化 (情報力、企画生産力、コスト低減)
- 営業力強化 (店舗人材の適材適所、新設店の人材対応力)
- 販売促進強化 (成長ブランドに販促集中投資)
- 経営管理力強化 (人材の適材適所・間接経費の低減)

(2) 重複既存店舗の展開ブランド変更による 収益性の向上

両社が持つ複数のブランドを最適に変更配置

同一商業施設内の重複店舗数	114店舗
(株)パレモ店舗数	576店舗
(株)鈴丹店舗数	241店舗

合併の効果(3)(4)



(3) ノウハウ及び人材資産の共有による 営業力・商品力の強化

商品力強化

各ブランドの商品部の統括部署を設置
情報、MD手法、VP手法の共有
商品の企画、生産の部分統合
人材の適材適所

営業力強化

営業店舗の統括部署を設置
店舗の人材の適材適所
成長ブランドへの人材の集中投資

(4) 統合による営業費の低減

会社管理

事務所の統合等による会社維持費用

営業経費

システム、物流、通信、販売備品

管理人件費

本社管理、営業管理、商品管理

成長ブランドへの集中投資による収益拡大

合併後の収益拡大に向けて 集中投資

＜都心、モール型立地＞

(株)パレモ リシェリエ・ドスチ・Re-J・IL300

(株)鈴丹 Si2C

中期的な収益拡大に向けて 育成投資

＜都心、中国＞

(株)パレモ ビサリア・木糸土

都心ブランドのM&A

中国市場への新規参入 2013年



専門店のトップグループ入りを目指す

	合併後の規模	⇒	目指す指標
売上高	420億円		600億円
経常利益	15億円		30億円
純利益	6百万円		15億円



4. 株主様情報

株主様構成比



株主数 3,231名(期首) ⇒ 2,907名

	2010年8月20日			2011年2月20日			2011年8月20日		
	株主数		株式数	株主数		株式数	株主数		株式数
個人株主・他	2,869名	98.6%	29.0%	3,191名	98.8%	31.1%	2,869名	98.7%	29.9%
国内法人	22名	0.8%	64.4%	24名	0.7%	63.5%	20名	0.7%	64.4%
機関投資家	16名	0.5%	6.6%	16名	0.5%	5.4%	18名	0.6%	5.7%
外国法人・個人	2名	0.1%	0.0%	0名	0.0%	0.0%	0名	0%	0%
合計	2,909名	100.0%	100.0%	3,231名	100.0%	100.0%	2,907名	100.0%	100.0%

株主様還元策



配 当

2011年2月期 年間12円 中間(実績)5円 期末(実績)7円

2012年2月期 年間10円 中間 5円 期末(予定)5円

株 主 優 待

300株以上1,000株未満 = 1,000円のクオカード

1,000株以上 = 5,000円相当の果物

＜2011年8月20日現在＞

お問い合わせ先



- ・住所 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
- ・TEL 0587-24-9771
- ・FAX 0587-24-9710
- ・担当者 <IR担当役員>
常務取締役 管理担当 永井 隆司
E-MAIL T-nagai@palemo.co.jp

・この資料には、株式会社パレモの現在の計画、確信及びその業績に関する将来の見通しが含まれています。
・これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響をあたえるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、様々な要素により、これらの見通しとは異なる場合があります。